

授業科目名		服装造形論Ⅰ【服装造形論】						
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	川村 志織・穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を活かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を活かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	基本的な衣服の構造と縫製法を学修し、人体を包む衣服の構成を通年で修得する。 一般知識、概説、用具説明、縫製の基礎、パターン記号、サイズの知識を原型、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ショー作品を通じ理論的に学ぶ。							
到達目標	衣服の構造と縫製法を、原型、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ショー作品の製作を通じて、服装知識、洋裁道具、素材、製図、地直し、裁断、補正、縫製を理論的に考え、述べることができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座1 コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』(文化出版局)</li> <li>プリント資料配布</li> <li>参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	基礎知識 ・製図、裁断、縫製に必要な用具の種類と名称 ・体型によって出るしわの原因と補正方法 ・一般的な服種の名称、素材	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	川村 穴戸
2	7-12 (6)	原型 ・原型とは ・原型の種類(女子原型、男子原型) ・原型の使い方	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	川村 穴戸
3	13-18 (6)	スカート ・スカートとは ・スカートの名称、素材 ・スカートの機能性、動作と体型	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	穴戸
4	19-21 (3)	帽子 ・帽子とは ・帽子の名称、素材 ・帽子のサイズ、仕組み	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	穴戸
5	22-30 (9)	ブラウス ・ブラウスとは ・ブラウスの名称、素材 ・ブラウスの機能性、動作と体型	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	穴戸

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	31-39 (9)	パンツ ・パンツとは ・パンツの名称、素材 ・パンツの機能性、動作と体型	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	宍戸
7	40-48 (9)	ワンピース ・ワンピースとは ・ワンピースの名称、素材 ・ワンピースの機能性、動作と体型	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	宍戸
8	49-60 (12)	ショー作品 ・ショー作品とは ・スタイリングによる舞台演出や効果	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	宍戸

授業科目名	服装造形 デザイン I【服装造形 デザイン】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	アイテム別の成り立ち、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツの基本のデザインから、応用のショー作品までの構造を学ぶ アイテム別のディテールの名称を学ぶ。							
到達目標	衣服の構造と縫製法を、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ショー作品の製作を通じて、服装知識、洋裁道具、素材、製図、地直し、裁断、補正、縫製を理論的に考え述べるができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	レポート	20	レポート、課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	作品	50						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座1 コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』(文化出版局) ・プリント資料配布 参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェア I (体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	基礎知識 ・アイテムの分類 ・アイテムの短縮表記	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村 宍戸
2	3-9 (6)	スカート ・形態による名称と素材 ・ウエスト部分の名称 ・スカート丈の名称	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
3	10-15 (6)	ブラウス ・形態による名称と素材 ・ディテールの名称(衿、袖、カフス、ポケット)	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
4	16-21 (6)	パンツ ・形態による名称と素材	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
5	22-27 (6)	ワンピース ・形態による名称と素材 ・シルエット、デザイン線について ・ディテールの名称(ネックライン、ノースリーブ)	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	28-30 (3)	ショー作品 ・形態による名称と素材	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

授業科目名	服装造形ソーイング I【服装造形ソーイング】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	300	単位数	10
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	縫製における一般知識、ミシンの使い方、用具説明、縫製の基礎、アイテム別の構造、縫製方法を学ぶ。 原型、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピース、ショー作品の部分縫いを行い基礎的な縫製技術を学ぶ。							
到達目標	衣服の構造と縫製法を、原型、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピース、ショー作品の製作を通じて、ミシンの取り扱い、地直し、印つけ、仮縫い合わせ・補正、裁断、縫製の技術・知識を習得する。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座1 コーディネートテクニク アパレル編Ⅱ(商品構成)』(文化出版局)</li> <li>・プリント資料配布</li> </ul> 参考文献:文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座1 服飾造形の基礎』(文化出版局) 文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座3 ブラウス・ワンピース』(文化出版局) 文化服装学院編『文化ファッション大系 服飾造形講座9 メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
1	1-6 (6)	ミシン講義 ・ミシンの種類について ・ミシンの取り扱いと商品 ・ミシン練習、操作方法	事前:配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	川村 宍戸
2	7-9 (3)	基礎知識1 ・服飾造形について ・アパレル商品の流れ、産業・生産のプロセス ・平面作図と立体裁断について	事前:配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	川村 宍戸
3	10-15 (6)	基礎知識2 ・基礎手縫い 並み縫い、本返し、半返し、逆からの返し縫い 置きじつけ、切りじつけ、運針練習 普通まつり、奥まつり、千鳥がけ、ボタンつけ	事前:配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	川村 宍戸
4	16-18 (3)	基礎知識3 ・布地について ・地直し、アイロンについて ・裁断、印つけについて ・布地に合わせた糸、針の選び方	事前:配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	川村 宍戸
5	19-45 (27)	原型 ・身頃原型の裁断、縫い合わせ ・手縫い方法、ダーツについて ・体型に合わせた調整、補正の方法	事前:配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	川村 宍戸

項目	時限数	学習内容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	46-66 (21)	スカート ・直線、ロックミシン縫いの方法 ・縫製(三つ折り、ベルトつけ) ・アイロン(割り、倒し、仕上げ) ・布地の縮絨方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
7	67-81 (15)	帽子 ・有型を使用した裁断、芯貼り ・縫製(カーブを縫う練習) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
8	82-111 (30)	ブラウス1 ・仮縫い方法と試着補正について ・オリジナルパターンを使用した裁断、芯貼り	事前: 配布プリント、上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の振り返り、考察	演習 実技	宍戸
9	112-141 (30)	ブラウス2 ・縫製(衿、カフス、短冊、見返し) ・縫製(身頃、袖、ボタンホール) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
10	142-162 (21)	タイトスカート ・ウール、裏地の扱い方 ・縫製(ベント、スリット、額縁仕立て) ・縫製(インサイドベルト、ファスナーつけ) ・仕上げ(ホック、糸ループ)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
11	163-189 (27)	ショー作品1 ・仮縫い方法と試着補正について ・オリジナルパターンを使用した裁断、芯貼り ・素材に合わせた縫製準備、テープ貼り	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
12	190-219 (30)	ショー作品2 ・デザインに合わせた縫製方法 ・デザインに合わせた組み立て方法 ・デザインに合わせた仕上げ方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
13	220-249 (30)	ワンピース1 ・仮縫い方法と試着補正について ・オリジナルパターンを使用した裁断、芯貼り	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
14	250-279 (30)	ワンピース2 ・縫製(コンシールファスナーつけ) ・縫製(ノースリーブ、レース、パイピング) ・縫製仕上げ(ギャザー、スプリングホック) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸
15	280-300 (21)	パンツ ・縫製(前ファスナー、カーブ切替ポケット) ・縫製(片玉縁ポケット、袋縫い、股ぐり) ・組み立て方法、仕上げ方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宍戸

授業科目名	服装造形 平面構成 I【服装造形 平面構成】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	人体を計測観察し、立体の基礎知識と製図の基本を学修し、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピース、ショー作品の製作を通じ、パターンメイキングの方法を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製図の基本、パターンメイキング方法を、スカート、ブラウス、パンツ、ワンピース、ショー作品の製作を行うことができる。</li> <li>・製図道具、補正、パターン展開を理論的に考え、説明・製図を実践することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座①『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・プリント資料配布</li> <li>参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	平面構成の基礎① <ul style="list-style-type: none"> <li>・製図に必要な用具の種類と名称</li> <li>・製図道具の使い方</li> <li>・縮尺定規の使い方</li> <li>・体型によってでるしわの原因と補正方法</li> </ul>	事前:上記テキストの該当箇所での予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村 宍戸
2	4-9 (6)	原型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化式女子原型、男子原型、袖の作図</li> </ul>	事前:上記テキストの該当箇所での予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村 宍戸
3	10-15 (6)	スカート① <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本シルエットの作図 (ギャザースカート、セミタイトスカート ティアードスカート)</li> <li>・デザインに合わせた作図の方法</li> </ul>	事前:上記テキストの該当箇所での予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
4	16-21 (6)	スカート② <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本シルエットの作図(タイトスカート)</li> <li>・デザインに合わせた作図、展開の方法</li> </ul>	事前:上記テキストの該当箇所での予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
5	22-27 (6)	ブラウス① <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本シルエットの作図 (基本のシャツ、シャツブラウス、シャツスリーブ カフス、剣ボロ、パフスリーブ)</li> <li>・デザインに合わせた作図、展開の方法</li> </ul>	事前:上記テキストの該当箇所での予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	28-33 (6)	ブラウス② ・基本ディテールの作図 (シャツカラー、台衿つきシャツカラー、フラットカラー) ・デザインに合わせた作図の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
7	34-39 (6)	パンツ① ・基本のシルエットの作図 (ストレートパンツ、ベルボトムパンツ、バギーパンツ) ・デザインに合わせた作図、展開の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
8	40-42 (3)	パンツ② ・基本のディテールの作図 (見返し、持ち出し、ベルト) ・デザインに合わせた作図の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
9	43-48 (6)	ワンピース① ・基本のシルエットの作図 (ウエスト切替、プリンセスラインワンピース) ・デザインに合わせた作図、展開の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
10	49-51 (3)	ワンピース② ・基本のディテールの作図 (スタンドカラー、パネル切替) ・デザインに合わせた作図の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
11	52-57 (6)	ショー作品 ・デザインに合わせた作図、展開の方法	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
12	58-60 (3)	平面作図の基礎② ・基本のディテールの作図 (カーブ切替ポケット、肩玉縁ポケット)	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実技	宍戸



授業科目名	アパレル生産管理Ⅰ【生産管理・アパレル品質論・素材論】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	生産管理 ・生産工場に倣い作品(製品)を提出日(納品日)までに計画的に生産する流れの中で、品質、原価、納期に関する知識を習得する。 アパレル品質論・素材論 ・布地の持つ性質を理解し、製品前、製品後の取り扱いを学修する。							
到達目標	・素材特性に合わせ、生産するファッションアイテムを選択することができる。 ・原型、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ショー作品の製作を通じ、企画方法、生産管理、品質管理の知識をつけ、生産に伴う書類(縫製仕様書・指示書・工程分析書)を実施することができる。 ・仕様に合わせた製品着用後の取り扱い注意点を説明することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	『文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座1 コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-2 (2)	生産管理① 原型 ・アイテム図と製品寸法について ・縫製仕様書、指示書、工程分析表について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義 演習	川村 宍戸
2	3 (1)	生産管理② スカート ・アイテム図と製品寸法について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義 演習	宍戸
3	4-5 (2)	生産管理③ ブラウス ・アイテム図と製品寸法について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義 演習	宍戸
4	6-7 (2)	生産管理④ ワンピース ・アイテム図と製品寸法について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実習	宍戸
5	8 (1)	生産管理⑤ パンツ ・アイテム図と製品寸法について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実習	宍戸

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	9-10 (2)	生産管理⑥ ショー作品 ・アイテム図と製品寸法について ・課題作品のデザイン企画 ・課題作品に適した素材について	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実習	宍戸
7	1-10 (10)	アパレル品質論・素材論① ・素材に合わせた裁断、生産方法 ・糸、素材の名称、特徴、産地について ・柄の名称や由来	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	宍戸
8	11-20 (10)	アパレル品質論・素材論② ・製品後の着用時の取り扱い注意 ・製品後の破損時の修理方法 ・製品後のクリーニング等の手入れの方法	事前:プリント資料 上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	宍戸

授業科目名	パターンメイキング I【パターンメイキング】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	デザイン、素材に適したパターンメイキング(作図)方法を習得する。							
到達目標	原型、スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ショー作品のデザイン画に合わせたシルエットの出し方、テクニックを実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化服装学院編文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座①『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』(文化出版局)</li> <li>プリント資料配布</li> <li>参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1 (1)	基礎知識 ・JISサイズ企画 ・トワルの種類、地直し	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村 宍戸
2	2-7 (6)	原型 ・文化式女子原型、男子原型、袖の作図方法	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村 宍戸
3	8-12 (5)	スカート ・基本のシルエットの作図 (ギャザースカート、セミサーキュラースカート ティアードスカート、タイトスカート)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
4	13-18 (6)	ブラウス ・基本のシルエットの作図 (基本のシャツ、シャツブラウス、シャツスリーブ カフス、剣ボロ、パフスリーブ) ・パターンの展開方法	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
5	19-22 (4)	ワンピース ・基本のシルエットの作図 (ウエスト切替、プリンセスラインワンピース) ・デザインに合わせた作図方法 ・パターンの展開方法	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	23-26 (4)	パンツ ・基本のシルエットの作図 (ストレートパンツ、ベルボトムパンツ、バギーパンツ) ・パターンの展開方法	事前: 上記テキストの該当箇所の予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
7	27-30 (4)	ショー作品 ・デザインに合わせた作図方法 ・シルエット、分量感の調整方法	事前: 上記テキストの該当箇所の予習 事後: 課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

授業科目名	アパレルパターンメイキング I【工業パターンメイキング】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。 衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	工業用パターンメイキングは、平面パターンを、工業用パターンに展開する方法を習得する。							
到達目標	スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、ショー作品のシルエットパターンを、素材・縫製にあわせた縫い代の形状、パターン記号を解釈し工業用パターン製作を行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座①『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 参考文献:文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化服装学院編『文化ファッション大系 服飾造形講座⑨『メンズウェアⅠ(体型・シャツ・パンツ)』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1 (1)	基礎知識 ・パターンメイキングの用語 ・パターン記号について	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	川村
2	2-3 (2)	スカート ・シルエットパターンの縫い代のつけ方(延長) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	穴戸
3	4-9 (6)	ブラウス ・シルエットパターンの縫い代のつけ方(反転形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	穴戸
4	10-15 (6)	ワンピース ・シルエットパターンの縫い代のつけ方(反転形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	穴戸
5	16-19 (4)	パンツ ・シルエットパターンの縫い代のつけ方(反転形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	穴戸

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	20-29 (10)	ショー作品 ・シルエットパターンの縫い代のつけ方(反転形状) ・パターン情報の記入方法(裁断時、縫製時)	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸
7	30 (1)	工業パターンの基礎 ・ディテールによる縫い代のつけ方	事前:上記テキストの該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宍戸

授業科目名	ファッションデザイン I【ファッションデザイン画・ファッションデザインCG】							
科目担当責任者	宮越由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越由紀子・宍戸杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのデザイン・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>ファッションデザイン画(宮越)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体のプロポーション、衣服着装の表現(陰影、しわ、構造線)ができるよう、基礎テクニックを中心として学び、素材表現までを習得する。</li> </ul> <p>ファッションデザインCG(宍戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトショップ、イラストレーターを駆使し、オリジナル企画書を作成する方法を習得する。</li> </ul>							
到達目標	実習・実技を通して基礎を解釈し、ファッションデザイン画の描き方や、パソコンを使用して、テーマ・イメージなどを表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	課題及び試験	70	課題作品、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 服飾関連専門講座④『ファッションデザイン画』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッションデザイン画① ・人体のバランスを知る	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	宮越
2	4-9 (6)	ファッションデザイン画② ・着装画、ディテール表現を学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:ディテール表現の復習	実習	宮越
3	10-20 (11)	ファッションデザイン画③ ・着色技法を学びながら、画材の扱い	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:画面構成の復習	実習	宮越
4	21-26 (6)	ファッションデザイン画④ ・テーマに合わせた画面構成	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:色のバランス復習	実習	宮越
5	27-30 (4)	ファッションデザインCG ・フォトショップ、イラストレーターを使った課題製作	事前:トレンドの情報収集 事後:課題作品の振り返り、考察	演習 実技	宍戸

授業科目名	ファッションデザイン学Ⅰ【ファッション色彩学・服装史・ファッション情報】							
科目担当責任者	穴戸 杏霞	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	阿部 弘・谷内 眞佐子・穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレルショップを経営後、カラスクールを創設し、色彩教育経験を生かした実践的な授業を行う。</p> <p>歴史的背景を踏まえたファッション作品の研究と経験を生かした実践的な授業を行う。</p> <p>アパレル商品の販売経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>ファッション色彩学(阿部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色についての基礎的な知識と色彩によるデザインの変化や視覚的効果などを学修する。</li> </ul> <p>服装史(谷内眞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古代から現代に至る、西洋を中心とした服装の推移・発展を映像などを使って紹介し、今後のファッションデザインにその知識を活かせるよう学修する。</li> </ul> <p>ファッション情報(川村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場調査や、雑誌・テレビ・インターネットなどから情報を収集し、ファッションデザインに反映させる技法を習得する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩のもつ効果的活用を正しく解釈し、その結果を課題および試験で表現(確認)することができる。</li> <li>古代から現代にいたる西洋を中心とした服装の変遷を、ファッションデザインを応用することができる。</li> <li>市場調査や、雑誌、TV、インターネット等をから情報収集し、ファッションデザインに適用することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	課題作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J-color『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級』一般社団法人 日本カラーコーディネーター協会</li> <li>・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑥『西洋服装史』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッション色彩学① ・序章 パーソナルカラーの基本	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:上記テキスト該当箇所の復習	講義	阿部
2	4-8 (5)	ファッション色彩学② ・色のイメージ豊かにする ・演習問題	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:上記テキスト該当箇所の復習	講義 実習	阿部
3	9-13 (5)	ファッション色彩学③ ・「似合う色」の基準を知る ・演習問題	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:上記テキスト該当箇所の復習	講義 実習	阿部
4	14-17 (4)	ファッション色彩学④ ・「似合う色」を客観的に探す、取り入れる ・演習問題	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:上記テキスト該当箇所の復習	講義 実習	阿部
5	18-20 (3)	ファッション色彩学⑤ ・検定に向けての対策 ・模擬試験、解説	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:上記テキスト該当箇所の復習	講義 実習	阿部



項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	21-23 (3)	服装史① ・衣服の原点	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(真)
7	24-25 (2)	服装史② ・古代の服飾 ・古代の衣服の変化	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(真)
8	26-27 (2)	服装史③ ・中世の服飾 ・中世の衣服の流行	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(真)
9	28-30 (3)	服装史④ ・近世の服飾 ・現代の衣服へのつながり	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:プリント資料の復習 レポートの作成	講義	谷内(真)
10	31-45 (15)	ファッション情報① ・市場予測を立てる ・実際の調査を行う (ショッピングリサーチ、インターネットリサーチ)	事前:トレンド情報を調査する 事後:調査方法の復習	講義 実習	宍戸
11	46-60 (15)	ファッション情報② ・調査結果のまとめ	事前:調査内容の整理 事後:調査方法の復習	講義	宍戸

授業科目名	服飾工芸Ⅰ【服飾手芸・帽子・アクセサリー】							
科目担当責任者	穴戸 杏霞	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>服飾手芸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に合わせた服飾小物の製作技術を習得する。</li> </ul> <p>帽子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帽子の基礎的知識や構造、作り方など基本パターンを使って作り方の手順を習得する。</li> </ul> <p>アクセサリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に合ったアクセサリーを製作し、基礎知識を習得する。</li> </ul>							
到達目標	作品に合った基本的な帽子、アクセサリーの知識・技術を学び、製作し表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化ファッション大系 ファッション流通講座④『コーディネートテクニック アクセサリー編Ⅱ』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 ファッション工芸講座①『帽子 基礎編』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	服飾手芸① ・基本的な服飾の手芸方法、技法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実習	穴戸
2	7-15 (9)	服飾手芸② ・課題作品、ショー作品の服飾小物の製作	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実技	穴戸
3	16-24 (9)	帽子① ・帽子の歴史 ・帽子の種類、名称、構造	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	講義	穴戸
4	25-45 (21)	帽子② ・帽子の縫製方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実技	穴戸
5	46-60 (15)	アクセサリー ・課題作品、ショー作品のアクセサリーの製作	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実技	穴戸

授業科目名	ファッションビジネス論 I【ファッションビジネス論・販売実務・リテールマーチャンダイジング・ストアマネジメント・英会話・コンピュータワーク】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	120	単位数	4
担当教員	若杉 恭子・唐川 真歩・ジョーンライダー・畑江 俊明・大戸 杏露	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。 英会話スクールに所属する英会話講師の実務を生かし、実践的な授業を行う。 企業での広告・グラフィック・サイン・造形・Web等のデザイナー経験を基に、実践的な授業を行う。 高等学校「現代社会」の授業を担当した経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションビジネス論(若杉):ファッションビジネスの基礎知識と現状を学修し、ファッション産業構造の把握と専門業務について学修する。 販売実務(若杉):販売員の仕事内容や、対応の仕方などの知識と接客の基本動作を、実践を通して学修する。 リテールマーチャンダイジング(計数)(唐川):計数計算の方法を理解し、例題を解きながら、基本的な計算を解く力を学修する。 ストアマネジメント(唐川):店舗内における接客、商品の量、計数管理などの基礎的な運営管理を学修する。 英会話(ライダー):日常会話に必要な文法を理解し、接客に関する様々な表現方法を学修する。 コンピュータワーク(畑江):コンピュータの基本操作を学修し、文章入力・表計算の方法等を習得する。							
到達目標	・ファッション業界で活躍できる基礎知識・技術を実践することができる。 ・店舗運営のための経営から接客までの基礎知識を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	60	レポート、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	10						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・『ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト』『ファッションビジネス能力検定3級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会 ・『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』『ファッション販売能力検定3級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会 ・『超入門 日・英・中 接客会話攻略ハンドブック ファッション販売編』 たかぎこういち 森下きみお(織研新聞社)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-12 (12)	ファッションビジネス論① ・流通産業について ・ファッションの職種の説明	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの復習	講義	若杉
2	13-34 (22)	ファッションビジネス論② ・ファッションイメージの説明、共有(8分類)	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
3	35-55 (21)	ファッションビジネス論③ ・オケージョン提案 ・ファッションイメージ分析 ・オケージョン別ファッションの提案	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
4	56-67 (12)	販売実務 ・接客用語、クレーム処理、基本動作を学ぶ ・店内の什器などに関する基礎知識について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	68-79 (12)	リテールマーチャンダイジング(計数) ・計数計算の方法を、テキスト・問題集の 例題を解く	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
6	80-85 (6)	ストアマネジメント① ・店舗の運営、管理など経営実務	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
7	86-89 (4)	ストアマネジメント② ・店舗の運営のための、商品量、計数管理	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
8	90-92 (3)	英会話① ・自己紹介 ・数量(英単語)について ・シャツ、パンツのアイテム名称とロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
9	93-94 (2)	英会話② ・色(英単語)について ・ギフト対応のロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
10	95-97 (3)	英会話③ ・ギフトラッピングとロケーションのロールプレイ ・フロア案内のロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
11	98-100 (3)	英会話④ ・レジ対応のロールプレイ ・返品、交換についてのロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
12	101-103 (3)	英会話⑤ ・接客対応の復習	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
13	104- 105 (2)	英会話⑥ ・英会話テスト準備 ・英会話テスト	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ ライダー
14	106- 114 (9)	コンピュータワーク① ・コンピューターの基本操作について	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:操作方法の復習	講義	畑江
15	115- 120 (6)	コンピュータワーク② ・課題作品などの資料作成	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:資料作成方法の復習	演習	宍戸

授業科目名	ファッションマーケティングⅠ【ファッションマーケティング・ファッションマーチャンダイジング・ビジュアルマーチャンダイジング・マーケットリサーチ、ディスプレイ・ビジネスデザイン】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	180	単位数	6
担当教員	若杉恭子・唐川真歩・畑江俊明	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。 高等学校「現代社会」の授業を担当した経験を生かし、実践的な授業を行う。 企業での広告・グラフィック・サイン・造形・Web等のデザイナー経験を基に、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションマーケティング(若杉):市場調査(リサーチ)の行い方や考え方を基礎的に学修し、リサーチをレポート(プレゼンテーション)する技術を習得する。 ファッションマーチャンダイジング(若杉):ブランドの、企画から販売までの計画を学修し、管理の基礎的知識を習得する。 ビジュアルマーチャンダイジング(若杉):什器やボックスを使い、服の陳列方法やディスプレイの視覚的(ビジュアル)効果を計画し、実習を通じ技術を習得する。 マーケットリサーチ(唐川):商品開発や広告、販売方法を企業のセールス活動の実例を引用しながら学修し、市場調査・分析を行う方法を習得する。 ディスプレイ(若杉):ディスプレイに関する構成、什器の使用方法、テグスの使い方など、基本的な知識を学修し、実習を通じ技術を習得する。 ビジネスデザイン(畑江):イラストレーターの基本操作を学習し、レイアウトイメージ等を実現化する方法を習得する。							
到達目標	市場調査・ブランド企画・広告プラン・セールス活動について解釈し、各プランの立案をしながらプレゼンテーションのための資料作成を実施し、店舗内外のディスプレイ表現方法を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	60	レポート、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	10						
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化ファッション大系 ファッション流通講座⑧『ディスプレイ・VP・VMD』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>『ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト』『ファッションビジネス能力検定3級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会</li> <li>『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』『ファッション販売能力検定3級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会</li> <li>プリント資料配布</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-21 (21)	ファッションマーケティング① ・ファッションビジネスの概要 ・ファッション消費と消費者行動	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
2	22-42 (21)	ファッションマーケティング② ・アパレル産業と小売産業 ・ファッションマーケティング	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
3	43-64 (22)	ファッションマーケティング③ ・ファッション流通 ・色彩、販売員の業務について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
4	65-84 (20)	ファッションマーチャンダイジング ・ブランド企画から販売への計画の基礎を、ディスプレイプランを立てながら学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	85-93 (9)	ビジュアルマーチャンダイジング① ・陳列方法や、ディスプレイの視覚的(ビジュアル)効果の計画の基礎を学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
6	94-114 (21)	ビジュアルマーチャンダイジング② ・基本となるパース、プランの書き方を踏まえ、什器やボックスを使いディスプレイ方法を学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	演習	若杉
7	115-144 (30)	マーケットリサーチ ・ファッション生活・消費の特性を学び、様々な顧客や企業とのコミュニケーションをとる方法の基礎を学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
8	145-174 (30)	ディスプレイ ・各自が計画したプランをもとに使いディスプレイをする	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	実技	若杉
9	175-178 (4)	ビジネスデザイン① ・イラストレーターの使用法 ・レイアウトの考え方	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	演習	畑江
10	179-180 (2)	ビジネスデザイン② ・図形、文字を使った構成 ・写真を使ったレイアウト、補正、トリミング	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:課題作品の振り返り、考察	実技	畑江

授業科目名	スタイリスト論 I【スタイリスト論・スタイリスト演習】							
科目担当責任者	穴戸 杏霞	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	スタイリスト論 ・スタイリストに必要な基礎的な知識と実務について学修する。 スタイリスト演習 ・製作物作品を、時代・季節に合わせてコーディネートし、着せつけ方等の基礎的技術を習得する。							
到達目標	・スタイリストに必要な知識と実務を実践することができる。 ・製作作品をコーディネート、スタイリングする基礎的技術を表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・文化服装学院編『文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座2 コーディネートテクニック アパレル編 I (商品知識)』(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	スタイリスト論① ・ファッションとコーディネート ・シーズンスタイリング ・ファッションイメージ	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	講義	穴戸
2	5-10 (5)	スタイリスト論② ・アパレル商品の基礎知識 ・アイテム、ディテールについて	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	講義	穴戸
3	11-15 (5)	スタイリスト論③ ・お直し、スタイリストについて	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	講義	穴戸
4	1-5 (5)	スタイリスト演習① ・スタイリングの基礎	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	演習	穴戸
5	5-10 (5)	スタイリスト演習② ・課題作品のスタイリング ・課題作品を使った作品撮り	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	演習	穴戸

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	11-15 (5)	スタイリスト演習③ ・ショー作品のスタイリング	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	演習	宍戸



授業科目名	ファッションコーディネートⅠ【コーディネート論・コーディネート演習・ヘアメイク】							
科目担当責任者	宍戸 杏霞	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	宍戸 杏霞・太田 悦子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>衣装のスタイリング、縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>化粧品メーカーでのビューティーアドバイザー経験を生かし、美容に関する実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>コーディネート論(宍戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイテムや色彩を考えた、コーディネートの基礎知識を学修する。</li> </ul> <p>コーディネート演習(宍戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着こなしや、着せつけなど演習を通して、コーディネートの基礎知識を学修する。</li> </ul> <p>メイク(太田)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎化粧品を学び、肌にあった手入れ方法、メイクアップ技術、顔の特徴に合わせたメイク方法を習得する。フレグランスとネイルの基礎知識を学修する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションアイテムとカラーコーディネートに合わせた表現をすることができる。</li> <li>・色彩を考えたコーディネート法、着こなし、着せつけなどの個性を生かしたコーディネート法を実践することができる。</li> <li>・基礎化粧品法、メイクアップ技術(フレグランス、ネイルを含む)を実践することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	30	試験、課題・レポート、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	課題・レポート	40						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布(コーディネート)(メイク)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	<p>コーディネート論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションコーディネートの考え方</li> <li>・カラーアイテムのコーディネート</li> </ul>	<p>事前:上記プリント資料の該当箇所での予習</p> <p>事後:上記プリント資料の振り返り、考察</p>	講義	宍戸
2	6-12 (6)	<p>コーディネート論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションコーディネートの考え方</li> <li>・同色の時のコーディネート</li> </ul>	<p>事前:上記プリント資料の該当箇所での予習</p> <p>事後:上記プリント資料の振り返り、考察</p>	講義	宍戸
3	13-18 (6)	<p>コーディネート論③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションコーディネートの考え方</li> <li>・体型別のコーディネート</li> </ul>	<p>事前:上記プリント資料の該当箇所での予習</p> <p>事後:上記プリント資料の振り返り、考察</p>	講義	宍戸
4	19-21 (3)	<p>コーディネート論④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションコーディネートの考え方</li> <li>・個人に向けたパーソナルコーディネート</li> </ul>	<p>事前:上記プリント資料の該当箇所での予習</p> <p>事後:上記プリント資料の振り返り、考察</p>	講義	宍戸
5	1-6 (6)	<p>コーディネート演習①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックアイテムを使用したスタイリング</li> </ul>	<p>事前:上記プリント資料の該当箇所での予習</p> <p>事後:上記プリント資料の振り返り、考察</p>	演習	宍戸

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	7-12 (6)	コーディネート演習② ・トレンドアイテムを取り入れたスタイリング	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習	宍戸
7	13-18 (6)	コーディネート演習③ ・体型に合わせたスタイリング	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習	宍戸
8	19-21 (3)	コーディネート演習④ ・製作アイテムを使用したスタイリング	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習	宍戸
9	1-3 (3)	ヘアメイク① ・皮膚学、スキンケアについて	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習 実技	太田
10	3-7 (4)	ヘアメイク② ・基本の肌タイプとスキンケア	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習 実技	太田
11	8-11 (4)	ヘアメイク③ ・4タイプの基本メイクアップ(セルフメイク)	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習 実技	太田
12	12-15 (4)	ヘアメイク④ ・4タイプの基本メイクアップ(対面メイク)	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習 実技	太田
13	16-18 (3)	ヘアメイク⑤ ・皮膚学、スキンケア、基本メイクの試験 ・フレグランスとネイルケア	事前:上記プリント資料の該当箇所での予習 事後:上記プリント資料の振り返り、考察	演習 実技	太田

授業科目名	キャリア教育 I【就職ガイダンス・企業研修】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識や経験を生かして、実践的な授業を行う。							
授業概要	就職ガイダンス ・就職活動の進め方、インターネットや職業紹介所の利用方法を知る。 グループ面接、グループディスカッションの対応方法を習得する。 企業研修 ・企業訪問を行い、将来の職業に対する向上心を高め、専門知識を学修する意義を深める。 ・企業で即戦力となる、専門知識や技術及び態度を習得する。							
到達目標	就職ガイダンス ・就職活動の進め方を解釈し、インターネットや職業紹介所を利用した求職を行うことができる。 ・グループ面接、グループディスカッションに対応する適切な態度を実践することができる。 企業研修: 企業訪問や企業研修を行うことで、社会人としての考え方、行動を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	就職ガイダンス① ・就職活動の進め方について	事前: 就職活動に興味を持つ 事後: 就職活動の計画を立てる	講義	川村
2	4-8 (5)	就職ガイダンス② ・職業紹介所、インターネット職業紹介サイトの利用方法 ・求人票の見方 ・自己分析の仕方	事前: 資料該当箇所を読む 事後: 自己分析表などの作成	講義	川村
3	9-13 (5)	就職ガイダンス③ ・グループ面接を想定した模擬面接 ・グループディスカッション	事前: 履歴書、自己分析表を読む 事後: 模擬面接の反省・振り返り	講義	川村
4	14-30 (17)	企業研修 ・企業訪問先の業務内容について ・企業見学、研修を行う	事前: 訪問企業について調べる 事後: 研修内容・態度の振り返り	実習	川村
5					

授業科目名	一般教養 I【茶道・ビジネスマナー・美術鑑賞】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	三品 あおい・川村 志織・宍戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	煎茶道竹峯流教授、マナープルトコール検定準1級取得経験を生かして、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>茶道(三品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な日本文化に触れることで「文化」を持つ重要さを感じる。お茶の作法から礼儀までを習得する。</li> </ul> <p>ビジネスマナー(三品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学ぶ。</li> </ul> <p>美術鑑賞(川村・宍戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道を通じて伝統的な日本文化に触れ、お茶の作法や礼儀、所作を行うことができる。</li> <li>・挨拶の仕方や姿勢など、社会人として必要なビジネスマナーを実践することができる。</li> <li>・美術館、博物館、ギャラリーなどの施設にて、芸術作品の見方と創造力を養い感性を磨くことができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布(ビジネスマナー)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	茶道① ・日本式の作法とマナー ・ほうじ茶の淹れ方、茶席でのマナー	事前:伝統的日本文化に興味を持つ 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
2	4-6 (3)	茶道② ・煎茶の淹れ方、茶席でのマナー ・和装についての知識	事前:お茶の種類について調べる 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
3	7-9 (3)	茶道③ ・抹茶の立て方、茶席でのマナー ・これまでの授業のまとめ	事前:所作について意識する 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
4	10-25 (16)	ビジネスマナー ・挨拶、姿勢、名刺交換の方法 ・履歴書の書き方、就職活動に向けて ・手紙、宛名の書き方	事前:マナーについて興味を持つ 事後:挨拶、姿勢の振り返り、自主練習 手紙、宛名の書き方練習	講義	川村 宍戸
5	26-30 (5)	美術鑑賞 ・美術館や展示会にて美術鑑賞	事前:鑑賞する美術、芸術の歴史や作品 の背景について調べる 事後:鑑賞した作品について考察、 レポートの作成	講義	川村 宍戸

授業科目名	特別授業【校外研修・特別講義】							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・穴戸 杏霞	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	仕立て直し専門店での縫製経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	校外研修 ・工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識及び情報を収集し感性を磨く。 特別講義 ・企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。							
到達目標	・研修を行うことによって、外部とコミュニケーションすることができる。 ・企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家から直接講義を受けることにより、専門知識や技術を学修する意義を解釈することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	特になし							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	校外研修 ・工場、作品展示見学 ・ファッションショーなどの見学・参加	事前: 研修先について情報収集する 事後: 研修内容の振り返り	講義	川村 穴戸
2	16-30 (15)	特別講義 ・アパレルメーカーやデザイナーなどファッション業界の専門家による講義	事前: 特別講師について情報収集する 事後: 講義内容について振り返り・考察	講義	川村 穴戸
3					
4					
5					

授業科目名	学校行事							
科目担当責任者	川村 志織	実務経験	有	<input type="radio"/> 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	川村 志織・宍戸 杏霞	区分	<input checked="" type="radio"/> 常勤	<input type="radio"/> 非常勤	授業期間	前期	後期	<input checked="" type="radio"/> 通年
実務経験を生かした教育内容								
授業概要	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学生が行事に参加することにより、他者とのコミュニケーションを強化することができる。</li> <li>・針供養を通し、日本の伝統行事を継承し解釈をすることができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	新入生歓迎会 募金活動 スクールピクニック 針供養	事前: 行事について情報収集する 事後: 行事内容について振り返り・考察	演習	川村 宍戸
2					
3					
4					
5					

授業科目名	服装造形論Ⅱ【服装造形論】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	基本的な衣服の構造と縫製方法を学修し、人体を包む衣服の構成を習得する。							
到達目標	基本的な衣服の構造と、人体の動きを解釈することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	筆記試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) 参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編 (文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	原型 ・体系計測 ・ダーツについて ・パターン記号類の復習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:授業内容の復習	講義	宮越
2	4 (1)	ジャケット① ・デザイン名称 ・ディテール名称 ・素材について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:ジャケットについて復習	講義	宮越
3	5 (1)	ジャケット② ・副資材について ・裏地について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:副資材について復習	講義	宮越
4	6 (1)	セミフォーマル① ・フォーマルの解説 (ルール、素材、アクセサリー)	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:フォーマルについて復習	講義	宮越
5	7-12 (6)	セミフォーマル② ・フォーマルの解説 (昼の礼装)	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:フォーマルの復習	講義	宮越

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	13-18 (6)	セミフォーマル③ ・フォーマルの解説 (夜の礼装)	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:フォーマルの復習	講義	宮越
7	19-24 (6)	セミフォーマル④ ・フォーマルの解説 (ブライダル、喪の礼装)	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:フォーマルの復習	講義	宮越
8	25-30 (6)	校外ショー ・使用素材の特徴と加工方法について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:素材の特徴について復習	講義	宮越



授業科目名	服装造形 デザインⅡ【服装造形 デザイン】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	基本的のデザインから応用デザインまでの構造を習得する。							
到達目標	イメージを表現するために構造を解釈したデザインを応用することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作 品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教 材	・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) 参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編 (文化出版局)							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	応用作品1(セミフォーマル要素を含む) ・素材の特性	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:素材について復習	実習	宮越
2	4-6 (3)	応用作品2(セミフォーマル要素を含む) ・素材のリサーチ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:素材について復習	実習	宮越
3	7-15 (9)	応用作品3(セミフォーマル要素を含む) ・デザインにあった素材のセレクト	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:素材について復習	実習	宮越
4	16-21 (6)	校外ショー① ・テーマを表現するデザイン	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:デザイン表現の復習	実習	宮越
5	22-24 (3)	校外ショー② ・テーマを表現するディテール	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:各ディテールの復習	実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	25-30 (6)	校外ショー③ ・デザインの統一を図るためのデザイン	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: デザイン表現の復習	実習	宮越

授業科目名	服装造形ソーイングⅡ【服装造形ソーイング】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	360	単位数	12
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	衣服の構造と理解し、実物製作(応用作品、セミフォーマル、ショー作品)・部分縫いを通して基礎と応用の縫製技術(裁断、印付け、トワル縫製、補正、本縫い縫製、仕上げ)を学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な縫製技術習得と、縫製機器の使用方法を理解する。</li> <li>・実物製作(応用作品、セミフォーマル、ショー作品)・部分縫いを通して素材の特性を考慮した縫製方法を習得する。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>参考文献:文化ファッション大系服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布</li> <li>文化ファッション大系服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
1	1-6 (6)	原型 ・裁断、印付け方法の確認 ・身頃縫い合わせ ・試着補正	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の振り返り・考察	演習 実技	宮越
2	7-18 (12)	部分縫い ・パッチポケットの作り方 ・箱ポケットの作り方 ・フラップ付き両玉縁ポケットの作り方	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:部分縫い製作の復習	演習 実技	宮越
3	19-24 (6)	部分縫い ・フォーマル素材の縫い合わせ方法 ・フォーマル素材の端の始末	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:応用作品製作の復習	演習 実技	宮越
4	25-36 (12)	応用作品1(セミフォーマル要素を含む) ・トワル裁断、印付け ・トワル製法 ・トワル試着補正	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:応用作品製作の復習	演習 実技	宮越
5	37-51 (15)	応用作品2(セミフォーマル要素を含む) ・地直し、裁断、素材ごとの扱い ・印付け、素材ごとの扱い ・接着芯、テープの扱い ・ファスナーの扱い	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:応用作品製作の復習	演習 実技	宮越

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	52-105 (54)	応用作品3(セミフォーマル要素を含む) ・縫い合わせ ・素材ごとのアイロンの扱い	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:応用作品製作の復習	演習 実技	宮越
7	106-129 (24)	応用作品4(セミフォーマル要素を含む) ・デザイン装飾の製作 ・ポケット、フリル、レースの取り付け	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:応用作品製作の復習	演習 実技	宮越
8	130-159 (30)	応用作品5(セミフォーマル要素を含む) ・素材ごとの仕上げ方法 ・ボタン、ホック付けの復習	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:フォーマル作品製作の復習	演習 実技	宮越
9	160-192 (33)	ショー作品(異素材)1 ・トワル裁断、印付け ・トワル縫製 ・トワル試着補正	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:フォーマル作品製作の復習	演習 実技	宮越
10	193-222 (30)	ショー作品(異素材)2 ・異素材の裁断～縫いのテスト	事前:異素材の特性を調べる (インターネット、販売店など) 事後:異素材扱いのテスト復習	演習 実技	宮越
11	223-312 (90)	ショー作品(異素材)3 ・異素材の加工 ・異素材の裁断、縫製	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:校外ショー作品製作の復習	演習 実技	宮越
12	313-360 (48)	ショー作品(異素材)4	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:校外ショー作品製作の復習	演習 実技	宮越

授業科目名	服装造形 平面構成Ⅱ【服装造形 平面構成】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	人体を計測観察し、立体の知識からパターンメイキングの方法を習得する。							
到達目標	課題に合わせた作図技術を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) 参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	原型 ・立体を表現するための構造	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:人体の構造を復習	実習	宮越
2	4-9 (6)	ジャケット ・人体の構造と運動量を考慮したパターンメイキング	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:人体の構造を復習	実習	宮越
3	10-15 (6)	ジャケット ・裏地のパターンメイキング ・縫製に合わせたパターンの展開	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:裏地について復習	実習	宮越
4	16-18 (3)	部分縫い(ジャケット) ・ポケットの特徴と構造とパターンメイキング	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:ポケットの構造を復習	実習	宮越
5	19-20 (2)	部分縫い(セミフォーマル) ・端の始末とそのパターンについて	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:端の始末方法を復習	実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	21-30 (10)	校外ショー ・異素材に合わせたパターンメイキング	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:異素材特徴を復習	実習	宮越

授業科目名	アパレル生産管理Ⅱ【生産企画・生産管理・アパレル品質論・素材論】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	布地の持つ特性を理解し、生産工場に倣い、製品を納期までに計画的に生産する流れを習得する。 その中で、品質、原価、納期に関する認識を高める。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成までの工程を計画的に実施することができる。</li> <li>・品質を高める認識と、製作原価を予測することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	課題レポート	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布</li> <li>文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	アパレル品質論・素材論① 原型 ・採寸から仮縫いまでの復習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:行程についての復習	講義	宮越
2	4-7 (4)	アパレル品質論・素材論② 応用作品-1 ・資材、副資材を学ぶ	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:副資材についての復習	講義	宮越
3	8-9 (2)	生産管理① 応用作品-2 ・製造原価の算出と下代設定	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:副資材についての復習	講義 実習	宮越
4	10-12 (3)	生産企画① 応用作品-3 ・生産の流れを予測、計画する方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:計画の方法を復習	講義 実習	宮越
5	13-15 (3)	生産管理② 応用作品-4 ・製造原価の算出と下代設定	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:各計算方法を復習	講義 実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	16-28 (13)	アパレル品質論・素材論③ 校外ショー1 ・資材、副資材	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 資材、副資材の復習	講義	宮越
7	29-30 (2)	生産企画② 校外ショー2 ・生産の流れを予測、計画する方法	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 計画の方法を復習	講義 実習	宮越



授業科目名	パターンメイキングⅡ【パターンメイキング】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	デザイン、素材に適したパターンメイキング方法を修習得する。							
到達目標	デザイン、素材に適したパターンメイキングを実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) 参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	原型 ・作図の復習を兼ねる	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:作図の復習	実習	宮越
2	4-6 (3)	ジャケット ・基本的なジャケットの作図	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:作図の復習	実習	宮越
3	7-12 (6)	応用作品1(セミフォーマル要素を含む) ・デザイン、素材を考慮	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:デザインに対する素材の復習	実習	宮越
4	13-18 (6)	応用作品2(セミフォーマル要素を含む) ・補正の方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:補正方法の復習	実習	宮越
5	19-24 (6)	校外ショー① ・デザイン、素材を考慮	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:デザインに対する素材の復習	実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	25-30 (6)	校外ショー② ・補正の方法	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 補正方法の復習	実習	宮越

授業科目名	アパレルパターンメイキングⅡ【工業パターンメイキング】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	工業用パターンに展開する方法を習得する。							
到達目標	シルエットパターンを、素材・縫製にあわせた縫い代の形状、パターン記号を解釈し工業用パターン製作を行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑥『コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ(商品構成)』文化服装学院編(文化出版局) 参考文献:文化ファッション大系 服飾造形講座②『スカート・パンツ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布 文化ファッション大系 服飾造形講座③『ブラウス・ワンピース』文化服装学院編(文化出版局) 文化ファッション大系 服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	原型 ・作図の復習を兼ねる	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:作図操作の復習	実習	宮越
2	4-6 (3)	ジャケット ・縫い代形状の付け方 ・各部の記号を復習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:縫い代形状の復習	実習	宮越
2	4-6 (3)	ジャケット ・縫い代形状の付け方 ・各部の記号を復習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:縫い代形状の復習	実習	宮越
3	7-12 (6)	応用作品①(セミフォーマル要素を含む) ・縫製に合わせた縫い代 ・フォーマル素材による縫い代の付け方	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:縫い代形状の復習	実習	宮越
4	13-18 (6)	応用作品②(セミフォーマル要素を含む) ・補正に合わせた修正方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:修正方法の復習	実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	19-24 (6)	校外ショー① ・異素材の構成を考慮した構造に合わせる方法	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 素材の構造を復習	実習	宮越
6	25-30 (6)	校外ショー② ・補正に合わせた修正方法	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 修正方法の復習	実習	宮越

授業科目名	ファッションデザインⅡ【ファッションデザイン画・ファッションデザインCG・テキスタイルデザイン】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子・橋本稔	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。 企業でのコピーライターを経験後、自営にてライターの実務を生かした、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションデザイン画(宮越):基礎を元に、デザイン・色彩を創造する演習を通して、より豊かな感性と表現力を習得する。 ファッションデザインCG(橋本):フォトショップの基本操作を学び、ショップDMの作成等の実習を通じ技術を習得する。 テキスタイルデザイン(宮越):各種素材の知識や構造等を学修し、ファッションでの表現を習得する。							
到達目標	実習・実技を通して、テーマ・コンセプトを表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	課題作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・文化ファッション大系 服飾関連専門講座④『ファッションデザイン画』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	デザイン画① ・着装デザインの復習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:人体バランスの復習	実習	宮越
2	4-6 (3)	デザイン画② ・ディテール表現 ・各画材の特徴	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:ディテール表現の復習	実習	宮越
3	7-12 (6)	デザイン画③ ・デザインに合わせた画面構成	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:画面構成の復習	実習	宮越
4	13-15 (3)	デザイン画④ ・色のバランスを整える方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:色のバランス復習	実習	宮越
5	16-18 (3)	ファッションデザインCG① ・イラストレーターの基本操作	事前:参考とするデザインの収集 事後:基本操作の復習	演習	橋本

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	19-21 (3)	ファッションデザインCG② ・広告の特性を学ぶ ・具体的な設定を元に広告を制作	事前: サンプル広告の準備 事後: 製作物を完成に近づける	演習 実技	橋本
7	22-24 (3)	ファッションデザインCG③ ・広告案のアドバイスを元にブラッシュアップした プレゼンテーション	事前: プレゼンテーションプラン立てる 事前: プレゼンテーションプラン振り返り	演習 実技	橋本
8	25-30 (6)	テキスタイルデザイン ・布と異素材の構造を理解し組み合わせ	事前: 上記テキスト該当箇所の予習 事後: 各素材の構造を復習	実験 実技	宮越

授業科目名	ファッションデザイン学Ⅱ【ファッション色彩学・モード史・ファッション情報】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	阿部弘・谷内 眞佐子・宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	カラーコーディネイトのスクール経営を基に、色彩の指導経験を生かし、実践的な授業を行う。 歴史的背景を踏まえたファッション作品の研究と経験を生かした実践的な授業を行う。 ユニフォーム製造販売企業でのデザイン・企画経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッション色彩学(阿部):色彩、フォルムコンポジションなど色について学修する。 モード史(谷内):現代ファッションの流れを理解し、服飾用語についての知識を深め、学修する。 ファッション情報(宮越):雑誌やインターネット、メディアなどからファッションについての情報を収集する方法を習得する。							
到達目標	服の歴史から最新トレンド情報までのファッションを解釈し、色の知識を加えたアドバイスを行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	60	レポート、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	10						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・J-color『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト2級』一般社員 日本カラーコーディネーター協会 ・文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑥『西洋服装史』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッション色彩学① ・序章・第1章 色彩学の基本 光と色 色の心理的効果	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の自主練習、復習	講義 演習	阿部
2	4-6 (3)	ファッション色彩学② ・第2章 配色技法とパーソナルカラーへの応用 混色の知識	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の自主練習、復習	講義 演習	阿部
3	7-9 (3)	ファッション色彩学③ ・第3章 クライアント中心としたアドバイス ・第4章 色素のアドバイス	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の自主練習、復習	講義 演習	阿部
4	10-12 (3)	ファッション色彩学④ ・第5章 三属性のドレーピング ・第6章 アイテム ・第7章 アドバイス	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の自主練習、復習	講義 演習	阿部
5	13-15 (3)	ファッション色彩学⑤ ・模擬試験、回答と解説	事前:模擬試験対策をする 事後:模擬試験内容の復習	講義	阿部

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	16-18 (3)	モード史① ・オードリー・ヘップバーンについて 現代の服飾 ・1920年代の服飾(アールデコ) ・簡素と機能性	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
7	19-21 (3)	モード史② ・ジャンコクーとバレエ衣裳 ・ギャルソンヌスタイル ・1930年代の服飾(世界的大恐慌) ・1940年から50年代の服飾 ・戦後モードの指針ディオール ・ニュールック ・1960年代の服飾      ・プレタポルテの時代へ	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
8	22-24 (3)	モード史③ ・1970年代の服飾 ・若者ファッションの時代へ ・1980年代の服飾 ・トレンドの多様化	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
9	25-27 (3)	モード史④ ・東京コレクション(黒の衝撃) ・モードのジャポニズム(ビデオ) ・ココ・シャネル ・ザ・ストリートオブコレクション①②	事前:テキストの該当箇所を読む 事後:レポートの作成・復習	講義	谷内(真)
10	28 (1)	・ファッション情報① ・海外コレクションについて ・ファッションアドバイザーの世界	事前:情報収集に興味を持つ 事後:レポートの作成・復習	講義	宮越
11	29-30 (2)	ファッション情報② ・市場予測を立てる ・実際の調査を行う (ショッピングリサーチ・インターネットリサーチ) ・調査まとめ	事前:市場の動きについて考察する 事後:調査方法の復習	講義	宮越



授業科目名	服飾工芸Ⅱ【アクセサリ】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	テキスタイル販売企業にて、オートクチュールデザインのパタンナー兼接客経験を生かした、実践的な授業を行う。							
授業概要	作品にあったアクセサリを製作し、基礎知識を習得する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品のコンセプトに合ったアクセサリ製作を実践することができる。</li> <li>デザインに合わせた道具を扱うことができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	作 品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教 材	文化ファッション大系 ファッション流通講座④『コーディネートテクニック アクセサリ編Ⅱ』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	アクセサリデザイン① ・作品に合わせたデザインを提案	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:製作工程の復習	実技	宮越
2	4-12 (9)	アクセサリデザイン② ・デザインに合う、素材 ・素材サンプル準備	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:製作工程の復習	実技	宮越
3	13-18 (6)	アクセサリデザイン③ ・素材の加工方法と必要なパーツ ・デザインに合わせた着装方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:製作工程の復習	実技	宮越
4	19-24 (6)	アクセサリデザイン④ ・各種道具の使い方	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:製作工程の復習	実技	宮越
5	25-30 (6)	アクセサリデザイン⑤ ・製作	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:製作工程の復習	実技	宮越

授業科目名	ファッションビジネス論Ⅱ【ファッションビジネス論・販売実務・リテールマーチャндаイジング・デザイン・ストアマネジメント・英会話・コンピューターワーク】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	120	単位数	4
担当教員	若杉 恭子・唐川 真歩・ シヨーンライダー・宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。 高等学校「現代社会」の授業を担当した経験を生かし、実践的な授業を行う。 英会話スクールに所属する英会話講師の実務を生かし、実践的な授業を行う。 ユニフォーム製造販売企業での企画経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションビジネス論(若杉):ファッション産業構造の把握と専門業務について理解し、自分の感性を分析することや、ファッション業界全般について学修する。 販売実務(若杉):販売員の仕事内容や、対応の仕方などの知識と接客の基本動作を、実践を通して学修する。 リテールマーチャндаイジング(唐川):計数計算の方法を理解し、例題を解きながら、計算を解く力を学修する。 ストアマネジメント(唐川):店舗内における接客、商品の量、計数管理などの運営管理を学修する。 英会話(ライダー):日常会話に必要な文法を復習し、接客に関する様々な表現方法を学修する。 コンピューターワーク(宮越):パワーポイントを使用し、プレゼンテーション方法を演習し修得する。							
到達目標	・販売計画に沿った店舗運営を実践することができる。 ・店頭での接客に関する実務を行うことができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	60	レポート、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	10						
	授業態度・姿勢	30						
教材	『ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト』『ファッションビジネス能力検定2級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会 『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』『ファッション販売能力検定2級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会 『超入門 日・英・中 接客会話攻略ハンドブック ファッション販売編』 たかぎこういち 森下きみお(織研新聞社)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-11 (11)	ファッションビジネス論① ・包装の基本知識、和式進物様式	事前:ラッピング資材について興味を持つ 事後:テキストの復習	講義	若杉
2	12-35 (24)	ファッションビジネス論② ・ファッション産業構造と専門業務について	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
3	36-41 (6)	販売実務① ・包装の基本知識、ギフトラッピングについて	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
4	42-47 (6)	販売実務② ・接客用語、クレーム処理、基本動作	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
5	48-62 (15)	リテールマーチャндаイジング(計数) ・計数計算の方法を、テキスト・問題集の例題を解く	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	63-68 (6)	ストアマネジメント① ・店舗の運営、管理など経営実務	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
7	69-74 (6)	ストアマネジメント② ・店舗の運営の為の、商品量、計数管理	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
8	75-77 (3)	英会話① ・自己紹介 ・数量(英語)について ・シャツ、パンツのアイテム名称とロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
9	78-79 (2)	英会話② ・色(英語)について ・ギフト対応のロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
10	80-82 (3)	英会話③ ・ギフトラッピングとロケーションのロールプレイ ・フロア案内のロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
11	83-84 (2)	英会話④ ・レジ対応のロールプレイ ・返品、交換についてのロールプレイ	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
12	85-88 (4)	英会話⑤ ・接客対応の復習	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
13	89-90 (2)	英会話⑥ ・接客英会話テスト準備 ・接客英会話テスト実施	事前:上記テキスト プリント資料の該当箇所の予習 事後:授業の振り返り、考察	講義	ショーン・ライダー
14	91-96 (6)	コンピューターワーク① ・パワーポイントの基本操作	事前:画面上での表現に興味を持つ 事後:操作方法の復習	講義 演習	宮越
15	97-120 (24)	コンピューターワーク② ・プレゼンテーション資料の作成方法	事前:参考資料を調べる 事後:資料作成方法の復習	講義 演習	宮越

授業科目名	ファッションマーケティングⅡ【ファッションマーケティング・ファッションマーチャンダイジング・ビジュアルマーチャンダイジング・セールスプロモーションⅠ・マーケットリサーチ・ディスプレイ・インテリアコーディネート】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	180	単位数	6
担当教員	若杉恭子・高橋洋平・唐川真歩・本間純子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。 企業での広告デザイナーを経験後、広告会社の経営を基に、WEBディレクターの実務を活かし、実践的な授業を行う。 高等学校「現代社会」の授業を担当した経験を生かし、実践的な授業を行う。 インテリア設計の実務経験とインテリア情報誌への執筆実績を基に、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションマーケティング(若杉):市場調査の行い方を学修し、リサーチをレポート(プレゼンテーション)する技術を習得する。 ファッションマーチャンダイジング(若杉):ブランドの企画から販売までの計画を学習し、管理の知識を習得する。 セールスプロモーション(高橋):広告の効果について学習し、売り上げを伸ばすための広告作りの方法を実習を通じ習得する。 マーケットリサーチ(唐川):商品開発や広告、販売方法を企業のセールス活動の実例を引用しながら学習し、市場調査・分析の方法を習得する。 ディスプレイ(若杉):ディスプレイに関する構成、什器の使用法、デグスの使い方など知識を活かし、実習を通じ技術を習得する。 インテリアコーディネート(本間):照明の効果、床壁材の特徴から、設計デザインの基礎を学修する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場調査・ブランド企画・広告プラン・セールス活動について解釈し、各プランの実践することができる。</li> <li>・プレゼンテーションのための資料作成を実施することができる。</li> <li>・店舗内外のディスプレイを実践することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	60	レポート、試験、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	試験	10						
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 ファッション流通講座⑧『ディスプレイ・VP・VMD』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・『ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト』『ファッションビジネス能力検定2級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会</li> <li>・『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』『ファッション販売能力検定2級問題集』一般社団法人日本ファッション教育振興協会</li> <li>・プリント資料配布</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-13 (13)	ファッションマーケティング ・ファッションマーケティング基礎からアパレル企業、小売店、インターネットのマーケティング	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
2	14-37 (24)	ファッションマーチャンダイジング ・ブランド企画から販売への計画を、ディスプレイプランを立てる	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	若杉
3	38-67 (30)	ビジュアルマーチャンダイジング ・陳列方法、視覚効果をボックスディスプレイで実習	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	演習 実技	若杉
4	68-73 (6)	セールスプロモーションⅠ① ・授業の目的と将来像 ・タッチポイントについて ・販売手法とブランディング ・テクノロジーによる販売手法	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義	高橋

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	74-79 (6)	セールスプロモーション I ② ・EC販売について ・顧客の分類、リストの収集 ・インターネット広告と情報発信手法について ・マーケティング用語	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義	高橋
6	80-85 (6)	セールスプロモーション I ③ ・セールスライティングについて ・ポジションマップとゴール設計 ・クリエイティブによる効果の違い	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義 実技	高橋
7	86-91 (6)	セールスプロモーション I ④ ・ECでの商品紹介について ・商品ページの構成について ・消費行動と近未来の市場予測について	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義 実技	高橋
8	92-97 (6)	セールスプロモーション I ⑤ ・集客経路の考察と設計 ・Webサイトについて ・オムニチャネルについて ・OMO、O2Oについて	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義 実技	高橋
9	98-109 (12)	セールスプロモーション I ⑥ ・販売促進案の企画書作成について ・プレゼンテーションのポイント、時間配分 ・企画案発表プレゼンテーション	事前:興味ある広告全般の調査 事後:授業内容の復習	講義 実技	高橋
10	110-124 (15)	マーケットリサーチ ・ファッション生活・消費の特性を学び、様々な顧客や企業とのコミュニケーションをとる方法	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	講義	唐川
11	125-136 (12)	ディスプレイ① ・ディスプレイの構成	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	実技	若杉
12	137-148 (12)	ディスプレイ② ・ディスプレイの道具の知識と使い方	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	実技	若杉
13	149-160 (12)	ディスプレイ③ ・テーマ、コンセプトを表現する構成	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	実技	若杉
14	161-174 (14)	ディスプレイ④ ・季節を表現する方法、小物の知識	事前:上記テキスト該当箇所の予習 事後:テキストの該当箇所の復習	実技	若杉
15	175-180 (6)	インテリアコーディネート ・照明の効果、床壁材の特徴を学び、テーマに沿ったプレゼンテーションボードの制作	事前:インテリア情報誌の閲覧 事後:テキストの該当箇所の復習	実習	本間

授業科目名	スタイリスト論Ⅱ【スタイリスト論・スタイリスト演習】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	テキスタイル販売企業にて、オートクチュールデザインのパタンナー兼接客経験を生かした、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>スタイリスト論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイリスト論Ⅰを踏まえ、スタイリストに必要な基礎的な知識と実務について学修する。</li> </ul> <p>スタイリスト演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物作品を、時代・季節・場にに合わせてコーディネートし、着せつけ方等の基礎的技術を習得する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイリストに必要な知識を身に付け、実務を行うことができる。</li> <li>・製作作品(応用作品フォーマル要素を含む)をコーディネート、スタイリングする基礎的技術を実践することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	文化ファッション大系 改訂版・ファッション流通講座②『コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ(商品知識)』文化服装学院編(文化出版局)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	<p>スタイリスト論①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションとコーディネート</li> <li>・シーズンスタイリング</li> <li>・ファッションイメージ</li> </ul>	<p>事前: 上記テキストの該当箇所での予習</p> <p>事後: 授業の振り返り、考察</p>	講義	宮越
2	5-10 (5)	<p>スタイリスト論②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル商品のフォーマル基礎知識</li> <li>・アイテム、ディテールについて</li> </ul>	<p>事前: 上記テキストの該当箇所での予習</p> <p>事後: 授業の振り返り、考察</p>	講義	宮越
3	11-15 (5)	<p>スタイリスト論③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お直し、スタイリストについて</li> </ul>	<p>事前: 上記テキストの該当箇所での予習</p> <p>事後: 授業の振り返り、考察</p>	講義	宮越
4	16-20 (5)	<p>スタイリスト演習①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイリングの応用</li> </ul>	<p>事前: 上記テキストの該当箇所での予習</p> <p>事後: 授業の振り返り、考察</p>	演習	宮越
5	21-25 (5)	<p>スタイリスト演習②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品のスタイリング</li> <li>・課題作品を使った作品撮り</li> </ul>	<p>事前: 上記テキストの該当箇所での予習</p> <p>事後: 授業の振り返り、考察</p>	演習	宮越

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	26-30 (5)	スタイリスト演習③ ・ショー作品のスタイリング	事前: 上記テキストの該当箇所での予習 事後: 授業の振り返り、考察	演習	宮越

授業科目名	<p style="text-align: center;"><b>ファッションコーディネートⅡ</b>  <b>【コーディネート論・コーディネート演習・ヘアメイク・ネイルアート】</b></p>							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	宮越 由紀子・山下 智子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	テキスタイル販売企業にて、オートクチュールデザインのパタンナー兼接客経験を生かした、実践的な授業を行う。 ネイルサロンの経営を基に、トータルビューティーアドバイザー経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	コーディネート論(宮越):アイテムや色彩を考えた、コーディネートの方法を学習し、表現力を習得する。 コーディネート演習(宮越):着こなしや、着せ付けなどの演習を通して、個性を利かしたコーディネートの技術を習得する。 ヘアメイク(宮越):ファッションコーディネートとしての、ヘアメイクのバランスを学修する。 ネイルアート(山下):ネイルの基礎知識とアートネイルの手法を学び、デザインする技法を習得する。							
到達目標	ファッションアイテムとヘアメイク・ネイルとのコーディネートに合わせて表現することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	課題作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-21 (21)	コーディネート論 ・ファッションコーディネートの基本的な知識と技術	事前:ファッション情報誌の閲覧 事後:授業の振り返り、考察	講義	宮越
2	22-42 (21)	コーディネート演習 ・ファッションイメージに視点を置いたコーディネート ・アクセサリーに視点を置いたコーディネート ・色彩と素材に視点を置いたコーディネート	事前:ファッション情報誌の閲覧 事後:授業の振り返り、考察	演習	宮越
3	43-48 (6)	ヘアメイク ・着用する衣装の色、パーソナルカラーを応用した ・メイクの方法、ヘアスタイルの提案	事前:スタイリングに興味を持つ 事後:授業の振り返り、考察	実技	宮越
4	49-51 (3)	ネイルアート① ・ネイルケアの方法 ・ネイルポリッシュの扱い方	事前:ネイルデザインに興味を持つ 事後:授業の振り返り、考察	実技	山下
5	52-54 (3)	ネイルアート② ・ネイルポリッシュを使ったアート技法 ・作品を製作	事前:デザインの情報収集 事後:授業の振り返り、考察	実技	山下



項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	55-60 (6)	ネイルアート③ ・アクリル絵の具を使ったアート ・作品を製作	事前:デザインの情報収集 事後:授業の振り返り、考察	実技	山下

授業科目名	キャリア教育Ⅱ【就職ガイダンス・企業研修】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識や経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	就職ガイダンス ・就職にむけて、自己分析・履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践的に学ぶ。 ・学校内外の会社説明会に積極的に参加する。 企業研修 ・企業訪問や協力企業にて企業研修(インターンシップ)を行い、将来の職業に対する向上心をもつ。 ・企業で即戦力となる、専門知識や技術及び態度を学ぶ。							
到達目標	就職ガイダンス ・自己について解釈し、他者に自身のことを説明することができる。履歴書、エントリーシートなどの書類作成、就職面接に対応する適切な態度を実践することができる。 企業研修: 企業訪問や企業研修を行うことで、社会人としての考え方、行動を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-10 (10)	就職ガイダンス① ・就職活動の進め方について ・自己分析表の作成 (履歴書や面接時の自己PRとなる自己の性格や経験を文章化する)	事前: 職業について情報収集する 事後: 作成した自己分析表を読み、自己の強みを振り返る	講義	宮越
2	11-20 (10)	就職ガイダンス② ・履歴書の作成 自己分析表を元に作成する ・模擬面接① (各自が希望する職業、服飾関連企業にて面接する事を想定した模擬面接を行う)	事前: 資料該当箇所を読む 事後: 模擬面接①の反省・振り返り	講義	宮越
3	21-30 (10)	就職ガイダンス③ ・模擬面接② (模擬面接1での反省を踏まえ、再度模擬面接を行い改善を図る)	事前: 履歴書、自己分析表を読む 事後: 模擬面接②の反省・振り返り	講義	宮越
4	31-55 (25)	企業研修① ・企業訪問、企業研修への心構え (協力企業にて企業訪問、企業研修を行う)	事前: 訪問企業について調べる 事後: 研修内容・態度の振り返り	実習	宮越
5	55-60 (5)	企業研修② 実習記録の記入、反省と考察 (企業研修後、職業観を考え確立する)	事前: 研修内容をまとめる 事後: 自己の職業観についての振り返り	実習	宮越

授業科目名	一般教養Ⅱ【茶道・国語表現・ビジネスマナー・美術鑑賞】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	宮越 由紀子・三品 あおい	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	煎茶道竹峯流教授、マナープルトコール検定準1級取得経験を生かして、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>茶道(三品):お茶の作法から礼儀まで、日本文化を学ぶ。</p> <p>国語表現(宮越):考えを伝える文章の組み立て方を学修し、ビジネスの場で必要とされる言葉を習得する。</p> <p>ビジネスマナー(三品・宮越):挨拶の仕方や姿勢、名刺交換の方法など、社会人として必要なマナーを学修する。</p> <p>美術鑑賞(宮越):美術館・博物館・ギャラリーなどで芸術作品を鑑賞し、美の本質を知り教養を高め、創造力や感性を養う。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として場所や状況に合わせた礼儀作法を行うことができる。</li> <li>・ビジネスの場で必要な文章力、コミュニケーション力を実践することができる。</li> <li>・美術館、博物館、ギャラリーなどの施設にて、芸術作品の見方と創造力を養い感性をさらに磨くことができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	茶道応用① ・日本式の作法とマナー ・ほうじ茶の淹れ方、茶席でのマナー	事前:伝統的日本文化に興味を持つ 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
2	4-6 (3)	茶道応用② ・煎茶の淹れ方、茶席でのマナー ・和装についての知識 ・招待状の返信・封筒の宛名の書き方	事前:お茶の種類について調べる 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
3	7-9 (3)	茶道応用③ ・抹茶の立て方、茶席でのマナー ・これまでの授業のまとめ	事前:所作について意識する 事後:作法の振り返り、考察	演習	三品
4	10-18 (9)	国語表現① ・報告・連絡等、物事を伝える文章を学ぶ	事前:書籍などで語彙を増やす 事後:レポートの振り返り、考察	実習	宮越
5	19-27 (9)	国語表現② ・考えを人に伝える文章を学ぶ (プレゼンテーションに使える言葉)	事前:書籍などで語彙を増やす 事後:レポートの振り返り、考察	実習	宮越

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	28-36 (9)	ビジネスマナー① ・挨拶、姿勢、名刺交換の方法 ・履歴書の書き方、就職活動に向けて ・手紙、宛名の書き方	事前: マナーについて興味を持つ 事後: 挨拶、姿勢の振り返り、自主練習 手紙、宛名の書き方練習	講義	宮越
7	37-45 (9)	ビジネスマナー② ・オンラインでの所作、発声など見せ方 ・オンライン機器の操作方法	事前: オンライン機器の種類を調べる 事後: 振り返りと自主練習	講義	宮越
8	46-60 (15)	美術鑑賞 ・美術館や展示会にて美術鑑賞	事前: 鑑賞する美術、芸術の歴史や作品 の背景について調べる 事後: 鑑賞した作品について考察、 レポートの作成	講義	宮越

授業科目名	特別授業【校外研修・特別講義】							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	ユニフォーム製造販売企業でのパタンナー・生産経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	校外研修 ・工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識及び情報を収集し感性を磨く。 特別講義 ・企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。							
到達目標	・研修を行うことによって、外部とコミュニケーションすることができる。 ・企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家から直接講義を受けることにより、専門知識や技術を学修する意義を解釈することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	特になし							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	校外研修 ・工場、作品展示見学 ・ファッションショーなどの見学・参加	事前: 研修先について情報収集する 事後: 研修内容の振り返り	講義	宮越
2	16-30 (15)	特別講義 ・アパレルメーカーやデザイナーなどファッション業界の専門家による講義	事前: 特別講師について情報収集する 事後: 講義内容について振り返り・考察	講義	宮越
3					
4					
5					

授業科目名	学校行事							
科目担当責任者	宮越 由紀子	実務経験	有	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	宮越 由紀子	区分	<input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤	授業期間	前期	後期	<input checked="" type="radio"/> 通年	
実務経験を生かした教育内容								
授業概要	新入生歓迎会、募金活動、スクールピクニック、針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学生が行事に参加することにより、他者とのコミュニケーションを強化することができる。</li> <li>・針供養を通し、日本の伝統行事を継承し解釈をすることができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	新入生歓迎会 スクールピクニック 針供養	事前: 行事について情報収集する 事後: 行事内容について振り返り・考察	演習	宮越
2					
3					
4					
5					